

2014年4月21(月)~5月18日(日)開催!

# 世界一大きな授業 2014

すべての子どもに教育を。みんなが動けば世界は変わる。

## 世界100か国以上の子どもたちと一緒に教育について考える授業をしよう!

現在、世界に学校に通えない子どもは、5,700万人、文字の読み書きのできない大人は7億7,400万人もいます。

こうした事実の背景には、紛争や貧困などはもちろん、教育への無理解や女の子など社会的弱者への差別といった、さまざまな問題があります。「世界一大きな授業」とは、そんな現状を世界中の人が同時に学び、考えるイベントです。

参加者の声を各国政府に届け、教育政策に反映するよう働きかけます。「すべての子どもに教育を」を合言葉に2003年にスタートし、2008年には800万人が参加。ギネス記録にも登録されました。日本でも、2013年には684校/グループ、59,116人が参加。今年も、世界100か国で一斉に開催します!

ワークショップ形式の活動を通して、生徒たちは体験的に世界の実情について学ぶことができました。もし自分がこの立場なら…と考えることができました。ふり返りではグループで話し合いましたがよい感想が聞かれました。(先生)

昨年参加した先生&生徒の声

識字体験では「わー!」とどよめきが起こっていました。多くの選択肢があったので、使いやすい教材でした。(先生)

こういう授業がなければ知らなかったことだから、今日知ることができてよかった。これから自分にできる小さなことでもしていきたい。(高校生)



世界中の子どもたちが参加しています (C)JNNE  
上:「もっと先生を!」とアピールするナイジェリアの子どもたち  
下:「世界一大きな授業」に参加する東京・武蔵野東小学校の子どもたち

## 参加者募集中

4月21日(月)~5月18日(日)の期間内に、授業案に沿って45分程度の授業を実施していただける方を募集しています。授業の場は学校に限らずサークルやグループなど、どなたでもご参加いただけます。授業案や資料は申込み後、事務局よりダウンロードURLをE-mailでご案内します。

申し込み〆切:2014年 5月18日(日)

参加費:無料 ※申込方法・フォームは裏面をご覧ください。

## 「世界一大きな授業」2014

主催: 教育協力NGOネットワーク(JNNE) \* 途上国で教育協力を行うNGO23団体のネットワーク

共催: プラン・ジャパン

協力: 地球対話ラボ

後援: 文部科学省、外務省、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、日本ユネスコ国内委員会、ユネスコ・アジア文化センター、

・ 動く→動かす、国際協力機構、国際連合広報センター、国際ボランティア学生協会、ガールスカウト日本連盟、「持続可能な開発のための教育の10年」推進会議、

・ 児童労働ネットワーク、なんとかしなきゃ!プロジェクト、ボーイスカウト日本連盟

「世界一大きな授業」は教育協力NGOネットワーク(JNNE)に参加する次の団体が実施しています:

開発教育協会、シャンティ国際ボランティア会、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン、日本YMCA同盟、プラン・ジャパン、フリー・ザ・チルドレン・ジャパン、ラオスのこども

*jnne*

教育協力NGOネットワーク(JNNE)